

100 (%)

32.6

広報ふじ」の閲読状況

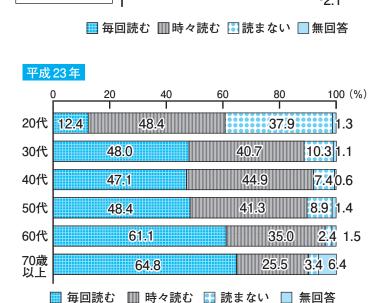
❷ あなたは「広報ふじ」を読みますか。

9割弱の人が読んでいるが、20代は「読まない」が増加

ります。「毎回読む」と「時々読む」を のしいることがわからじ」を でいることがわからしていることがわからい。

いる人は、1・5%減少しまいる人は、1・5%減少しますると、「広報ふじ」を読んで平成17年の調査結果と比較

年代別に見ると、20代は「毎には40代~70歳以上では1割人は40代~70歳以上では1割人は40代~70歳以上では1割未満ですが、20代では3・9%を超えています。



57.8

50.4

自由意見

「広報ふじ」に関する意見

- (7歳以上・男性)
- 小・中学生・高校生など毎日頑を持つ内容も必要。(40代・女性)かたいイメージ。若い人が関心

張っている子どもの話題がいっ

代・女性) と立つ内容も入れてほしい。(40年)のお勧め情報など生活にはい欲しい。(30代・男性)

ム報全般に関する意見

- 安性) を多く活用してほしい。(2代・のを多く活用してほしい。(2代・のを多く活用してほしいので、 は民ならだれでも利用できるも のを多く活用してほしい。(2代・
- 性) というでは、(4代・女のきりさせてほしい。(4代・女報がどこで明らかになるか、は災害時や停電時などの正確な情災害時や停電時などの正確な情

同報無線放送に関する意見

- ・正確な情報を素早く流してもら放送してほしい。(40代・男性)放送してほしい。(40代・男性)で、災害時のお知らせなど、市民の
- する意見 同報無線放送メールサービスに関いたい。(30代・女性)

平成17年

平成23年

回答数 1,622 人

回答数 1,832 人

(40代・男性) 線放送)はよいと感じています。

結果報告

通常のテレビ放送

同報無線放送

テレビ放送

富士市ウェブサイト

コミュニティFM放送以外の

富士市ウェブサイト以外のインター ネット情報(ブログ、twitterなど)

新聞

その他

無回答

わからない

ースや特別番組など)

同報無線放送メールサービス

コミュニティFM放送「Radio-f」

-ブルテレビを利用した市独自の

臨時に発行する広報紙(広報ふじ)



災害時に情報をどのように得たい

か

思っている 半数以上の人が通常のテレビ放送で情報を得たいと

を占め、 は6割を超えています。 た人が最も多く、半数以上 スや特別番組など)」と答え 通常のテレビ放送(ニュー すべての年代において、 60代・70歳以上で

60(%)

57.8

っています。 以上では1割程度にとどま いるのに対し、60代・ 40代では3割以上を占めて 1 ビス」と答えた人は30・ 同報無線放送メー 70 歳 ル

万人です。 23年11月1日時点で約3 「同報無線放送メールサ

ビス」登録者数は平成

8.0 3.3 4.7

10

20

30

21.5

18.1

14.6

13.5

11.9

9.6

7.3

40

50

48.9

回答数 1,832 人

100 (%) 80 60 18.1 9.6 1.2 24.2 10.0

平成17年 回答数 1,622 人 平成23年 回答数 1,832 人

レンダー」をぜひ、ご活用くだ

テスト」の入賞作品を使用した

「第6回富士山百景写真コン

平成24年版市民暮らしのカ

■ 利用していない : 読まない

■ことしも間もなく

皆さんのご家庭に届きます

20

■ 利用している

40

71.1

64.1

1.6

6割以上の人が家庭で利用

と7・0%減少し、「利用していな 割を超えています。 |利用している」と答えた人は、 平成17年の調査結果と比較する は6・1%増加しています。 市民暮らしのカレンダー 6 を

れます。 広聴・平和推進 → 世論調査でごらんにな めていきます。 今後の市政の参考にし、 した。 さいました皆さん、ありがとうございま ト トップページ → 市政の情報 → 広報・ 皆さんからいただいた貴重なご意見を なお、詳しい調査結果は市ウェブサイ お忙しい中、 今回の調査にご協力くだ まちづくりを進

世論調査に関する問い合わせ

広報広聴課 Bkouhou@div.city.fuji.shizuoka.jp **255-2736** 四51-1456

市民暮らしのカレンダーの利用状況

10

を利用していますか。

ています。

あなたの家庭では

「市民暮らしのカレンダー」

毎年12月に「市民暮らしのカレンダー」を各家庭へ配布し